



漫畫の巡査さん

○署内 K 生

元來飲めない僕なんだが御付合なら致し方がないと思つて四  
五杯やつたら相當ホロよい機嫌  
になつた處へ這つて来たのが彼  
酔漢なのだ、奴は何處かで鱈腹  
やつて来て暴言の限りを盡し、  
遂に僕等の席に來て僕の友人と  
喧嘩になつて終つたんだ。其處  
で僕も警察官だから、私服と雖  
も放つて置く譯にも行かず二人  
を取押へ様として斯様な負傷を  
して面目ない次第だ。それはか  
りならまだよいのだが、當時友  
人の奴が酔漢を擲つて負傷させ  
たからたまらない、奴にあべこ  
べに告訴するなんて脅かされ僕  
も全く閉口して語つたよ、其處  
で銀と鉛と交換しても居られん  
から癪に障つたが當方から妥協  
を申込み治療費を持つ事にして  
漸く其夜の事は何もない事にケ  
リをつけた譯なんだ。  
考へれば考へる程阿呆らしい  
話さ、慎しむべきは酒だ。二度  
と再びあんな處に遊びに行く氣  
にはなれないよ」  
A「そうか、全く痛し痒し  
だつたね、だから我々は實際  
關係と出入先に注意を拂はなく  
ちやいかんよ。カフェーにだつ  
て場合に依つては出入せねばな  
らんが、其處で遊興等して酔態  
を現はし他の酔漢と渡合ふん  
ていふ事は網紀肅正上宜敷くな  
い、君の場合もさうだが、君の  
執つた處置が公正であり相當云  
ひ分があつたにせよ君の同伴者  
である友人が先方に傷害を與へ  
たとすれば君にも或程度迄責任  
はあるからねい。  
B「よい経験だ、これから二度  
と繰返さぬ様注意する事にしよ  
う、これも新年の副産物だと思  
つて諦めて居るが、時に君同輩  
のC君も此の間何かでゝられた  
といふではないかねい」

犬を尋ねる!!

種類 テリヤ、犬の名前(チビと呼ぶ)  
毛色 白より頭にかけて黒く、頬紅く、鼻黒し  
背と尻に各二つ宛の斑點あり  
身長 尻尾なく首環に真鍮の銀十數あり、雄犬  
普通の猫より稍々大きいと思ふ程度  
右の發見者、送り届人、密告者に對して薄謝を呈す。  
平町中町(稅務署脇) 大井川幸隆  
電三四四

開店披露

此程皆様ノ御薦メニ依リ時計商ヲ開店致シ  
マシタ、何卒御引立ヲ願ウ

時計 修膳販賣  
蓄音器 修膳販賣  
修繕料ハ開店披露ノ爲本日ヨリ十日間ハ特ニ割引  
致シマス

四倉本町三番地

山野邊時計店

新車が入りました

貸切ノ御用命ハ  
セヒ 三井自動車部へ

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行  
電話 六八五番

入學紀念時計賣出し

可愛御子様ノ卒業、御進級  
御入學ノ記念には是非景品付  
大特賣ノ星野時計店へ……  
精工舎製腕時計……金六圓八十錢より  
金八圓以上の時計御買上方へ  
硝子置時計壹個呈上  
三月二十五日より

星野時計店

新車御披露

三十四年式テラツクスセタン入車致  
しました、貸切の御用の節は是非御  
試乗を御願致します  
最新型セタン揃ひました。

電話六四〇番

尼子タクシー

腸胃病

内科 胃腸病科  
花柳病科 性病科  
泌尿器病科 皮膚病科  
肛門病科

門專

院醫科性病胃腸村松  
(番七〇一電 町南町平)

療

診

一、派出多忙に付會員募集  
一、本會は各御家庭の便宜を計り御手  
不足の場合に臨時に御手傳に上り  
ます

妊産婦や患者の附添 派出料一日分  
家庭 雜用一切 金五拾錢

遠近に不拘堅實なる婦人を派出させます  
福島縣石城郡平町八幡小路八三電呼九三

會主 鵜沼隆子

◎寄宿の便あり

齒科

平町古鍛冶町九一  
神谷齒科醫院

神谷辰夫

た正月の鮪かきこのデーは多大の御引立  
に預り厚く御禮申上  
又只今よりデーを初め升何卒以上の御引立の程御願致升  
(十八日マデ)

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| サ  | テ  | ネ  | カ  | フ  |
| ツ  | ッ  | ギ  | カ  | カ  |
| シ  | カ  | ス  | ナ  | キ  |
| ミ  | 井  | ナ  | ナ  | ナ  |
| 前  | ベ  | ベ  | ベ  | ベ  |
| 二十 | 二十 | 二十 | 二十 | 二十 |
| 五  | 五  | 五  | 五  | 五  |
| 錢  | 錢  | 錢  | 錢  | 錢  |

魚清食堂部

電話六三三

かまぼく製造

折詰生魚  
平町一丁目(電話一四二番)  
た惣菜用  
さつま揚  
吉原場

生徒募集

非常時日本と婦人の職業  
近代の日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて参りました  
婦人の職業として産婆看護婦といふ業は最も似つかはし  
い天職で有ります。  
卒業年限僅か一ケ年  
開業すれば収益も多大で家政の内助ともなり、家庭の人  
となつても直接役に立つのは此の産婆看護婦の業で有り  
ます。  
戦争と日本婦人としての覺悟  
一日緩急あれば戦時看護婦として愛する母國への奉仕に  
務めませう。  
古く傳説の歴史と縣下第一の好成绩を誇る平町一丁目の  
石城産科看護婦學校へ御入學下さい。

石城産科看護婦學校

校長 鷹崎千代